


特別会計

次に、一般会計とは分けて経理する特別会計について説明します。
本市には、5つの特別会計があり、それぞれの事業の概要と予算額は次のとおりです。

<h3>国民健康保険</h3> <p>[58億530万円]</p> <p>本市の国民健康保険の加入者に対して、病院などにかかったときの医療費を給付するほか、病気の早期発見のための健診、病気の予防や健康増進のための事業を実施しています。</p>	<h3>後期高齢者医療</h3> <p>[7億1,884万円]</p> <p>後期高齢者医療とは、75歳以上の人（一定の障害がある65歳以上の人を含む）が加入する医療保険のことです。高齢者の医療費を安定的に確保するために国民全体で支える制度です。</p>	<h3>急患医療</h3> <p>[1億6,354万円]</p> <p>田川地区の救急患者に対し、応急的診療を行う「田川地区急患センター」を運営しています。診療によって生じる診療報酬や田川市郡8市町村からの負担金が運営の財源です。</p>
<h3>住宅新築資金等貸付</h3> <p>[1,135万円]</p> <p>生活環境の向上が必要な地域の改善を目的に、住宅新築のための資金などを貸し付ける事業です。現在は、新規の貸し付けは行っており、過去に貸し付けた資金の回収事業を行っています。</p>	<h3>田川市等三線沿線地域交通体系整備事業基金</h3> <p>[1億8,392万円]</p> <p>平成筑豊鉄道の改修費用や運行費用に対して補助金を支出するための特別会計です。なお、この会計から支出する補助金は、平成筑豊鉄道が運行しているすべての市町村で負担しており、これを田川市が取りまとめて支出しています。</p> 	

公営企業会計

最後に、一般的な会社と同じように利用者からの料金収入で事業を行っている公営企業会計について説明します。
本市には「病院事業会計」があり、予算額は次のとおりです。

公営企業会計は「収益的収支」と「資本的収支」の2つで成り立っています。

- 収益的収支** 病院で診療を行ったりする経営活動に伴うすべての「収入」と「費用」を経理する収支です。
- 資本的収支** 施設などの整備や長期間使用する機器の購入など支出の効果が将来に及ぶもののほか、借金の返済など、これらの支出とその財源となる収入を表す収支です。

病院

●収益的収支		●資本的収支	
収入		収入	
医療収益	50億9,741万円	企業債	3億円
医療外収益	5億5,271万円	補助金・負担金	4億7,266万円
特別利益	2億3,234万円	収入合計	7億7,266万円
収入合計	58億8,246万円		
支出		支出	
医療費用	57億3,646万円	建設改良費	3億円
医療外費用	9,064万円	企業債償還金	6億1,282万円
特別損失	4,824万円	支出合計	9億1,282万円
予備費	1,000万円		
支出合計	58億8,534万円		

※水道事業は、平成31年4月から田川市・川崎町・糸田町・福智町の1市3町で広域化(統合)し、1市3町で組織する田川広域水道企業団が運営するため、本市では予算は計上しません。

令和元年度当初予算

市の予算

市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類に分かれており、それぞれでその収支を管理しています。

<h3>一般会計</h3> <p>市で一番大きい会計で、福祉・子育て、学校の運営や道路整備などまちづくりに必要なさまざまなお金を経理しています。</p>	<h3>特別会計</h3> <p>収入や使い道などをはっきりさせるために、一般会計とは別に経理しています。本市には、「国民健康保険」、「急患医療」など全部で5つの特別会計があります。</p>	<h3>公営企業会計</h3> <p>一般的な会社と同じように、利用した人から料金ももらって事業を行っている会計です。本市には病院の公営企業会計があります。</p>
--	---	--

令和元年度当初予算は、本年4月から実施している幼児教育・保育の完全無償化を反映させたほか、4月に市長選挙が行われることを考慮し、経常的経費を中心に「骨格予算」を意識して編成しました。骨格予算に計上していない政策的経費などは「肉付け予算」として6月議会に提案する補正予算に計上する予定です。なお、この「肉付け予算」は、9月に発行する広報たがわでお知らせする予定です。

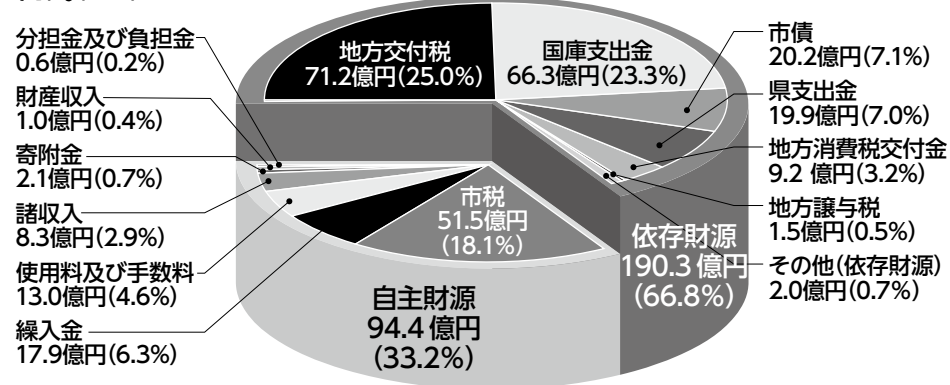
【骨格予算とは】
本来、予算はその年度のすべての歳入、歳出で編成されます。しかし、市長選挙が行われる年度は、政策的な判断が必要な経費の計上を避け、義務的経費や継続的事業を中心に計上し、政策的な新規事業は計上せずに編成します。

一般会計

最初にみなさんに一番身近で、金額が一番大きい一般会計について説明します。

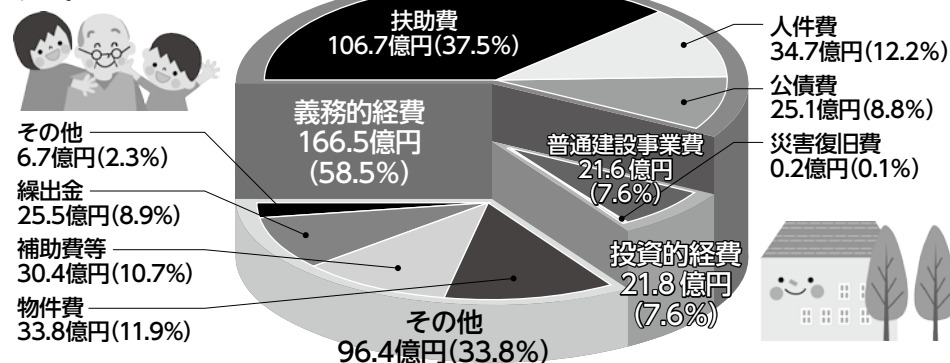
総額 **284億5,984万円**

歳入



- 自主財源** みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、本市が自主的に財源として集めることができる収入です。
- 依存財源** 国や県からもらう補助金や、国が集めた税金を配分する地方交付税のほか、市の借金である市債などの収入です。福祉サービスや道路、施設の建設などに充てられます。国や県などから受け取るため、税などの自主財源に対して依存財源といわれます。

歳出



- 扶助費** 生活困窮者や子ども、高齢者、障害者などを援助するために使われます。
- 補助費等** 公営企業会計(病院)への負担や、各種団体への助成などに使われます。
- 繰出金** 国民健康保険や急患医療といった特別会計の事務費などを援助するために使われます。
- 普通建設事業費** 道路や公園、学校、スポーツ施設などを整備するために使われます。